

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	全国高等学校総合文化祭			担当部局庁	文化庁	作成責任者					
事業開始年度	昭和52年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(芸術文化担当)	参事官 山田 素子					
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)	文化芸術基本法第8条、12条、24条			関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画－文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくる－(第1期)(平成30年3月6日閣議決定)						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国都道府県代表の高等学校の生徒による芸術文化活動の発表会を総合的に開催し、創造活動の向上を図るとともに相互の交流を深めることにより、芸術文化の振興に資することを目的とする。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	高校生の文化芸術活動を全国規模で発表する場を提供する全国高等学校総合文化祭を実施する。開催内定後、生徒を中心とした実行委員会を設置し、2年の準備期間を経て開催年度を迎える。また、文化祭で選出された優秀校による全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演を国立劇場にて開催する。文化系部活動の「インターハイ」、「甲子園」として多くの生徒の目標となっている。令和3年度の文化祭は和歌山県での開催(7/31～8/6)である。現在、第50回大会(令和8年度)まで開催県の内定をしているところである。										
実施方法	直接実施、委託・請負										
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	99	99	111	108	108				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		99	99	111	108	108				
	執行額		97	63	94						
	執行率(%)		98%	64%	85%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		98%	64%	85%						
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由							
	芸術祭等運営費	107	107								
	委員等旅費	0.6	0.6								
	諸謝金	0.4	0.4								
	職員旅費	0.3	0.3								
	計	108	108								
	活動内容(アクティビティ)	各都道府県代表の高校生による、芸術文化活動を発表する全国大会として「全国高等学校総合文化祭」を開催し、創造活動の向上を図るとともに相互の交流を深めることにより、芸術文化の振興に資する。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込		
	全国高等学校総合文化祭の全都道府県での開催を目標とする。	全国高等学校総合文化祭の開催県の数	活動実績	校	43	44	45	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	参加校1校あたりコスト=執行額/参加校数			単位当たりコスト	円	30,852	26,316	35,514	37,152		
				計算式	百万円/校	97百万円/3,144校	63百万円/2,394校	95百万円/2,675校	108百万円/2,907校		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度		
	高校生の発表機会・鑑賞機会確保、文化部活動の活性化に資するよう参加者数が過去3年間の平均となることを目標とする。	全国高等学校総合文化祭の参加者数	成果実績	県	18,021	13,045	14,583	-	-		
			目標値	県	19,886	19,466	17,367	15,216			
			達成度	%	90.6	67	83.9	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	実績										

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	12 文化芸術の振興		
		施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実	政策評価書 URL https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_12-1.pdf 該当箇所 3ページ	
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:		
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		
			該当箇所		

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は全国都道府県代表の文化部活動を行う高等学校の生徒に発表する場を提供することを目的とし、広く国民のニーズに応える事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	文化部活動を発表する場を提供することにより全国の高校生の創造活動の向上を図り、将来の日本文化の発展に寄与する本事業は国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	文化芸術推進基本計画－文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくる－(第1期)において、文化芸術の創造と発展を図り、我が国の優れた文化芸術を次世代へ確実に継承するとともに、豊かな文化芸術教育の充実を図るために必要かつ適正な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	委託契約については、一般競争入札としており競争性を確保している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	なお、競争性のない随意契約となったものは、開催県への支出委任に基づき開催県が実行委員会を相手方として委任契約するものであり、事業の効率性の観点から支出先の選定として妥当である。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	開催経費のうち国が負担する部分と開催県が負担する部分を明確に分けており、その負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	より多くの参加が得られるよう周知、広報に努めており、単位当たりのコストの水準は妥当なものである。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	国、地方公共団体の定めるところに従って支出を行っており、合理的である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	要綱に基づいた事業の実施を効果的に行うための費目・使途に限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	開催県との連携を密することで先催県の開催経費の執行状況や調達方法の情報等を共有し、コスト削減及び効率的な執行に努めている。	

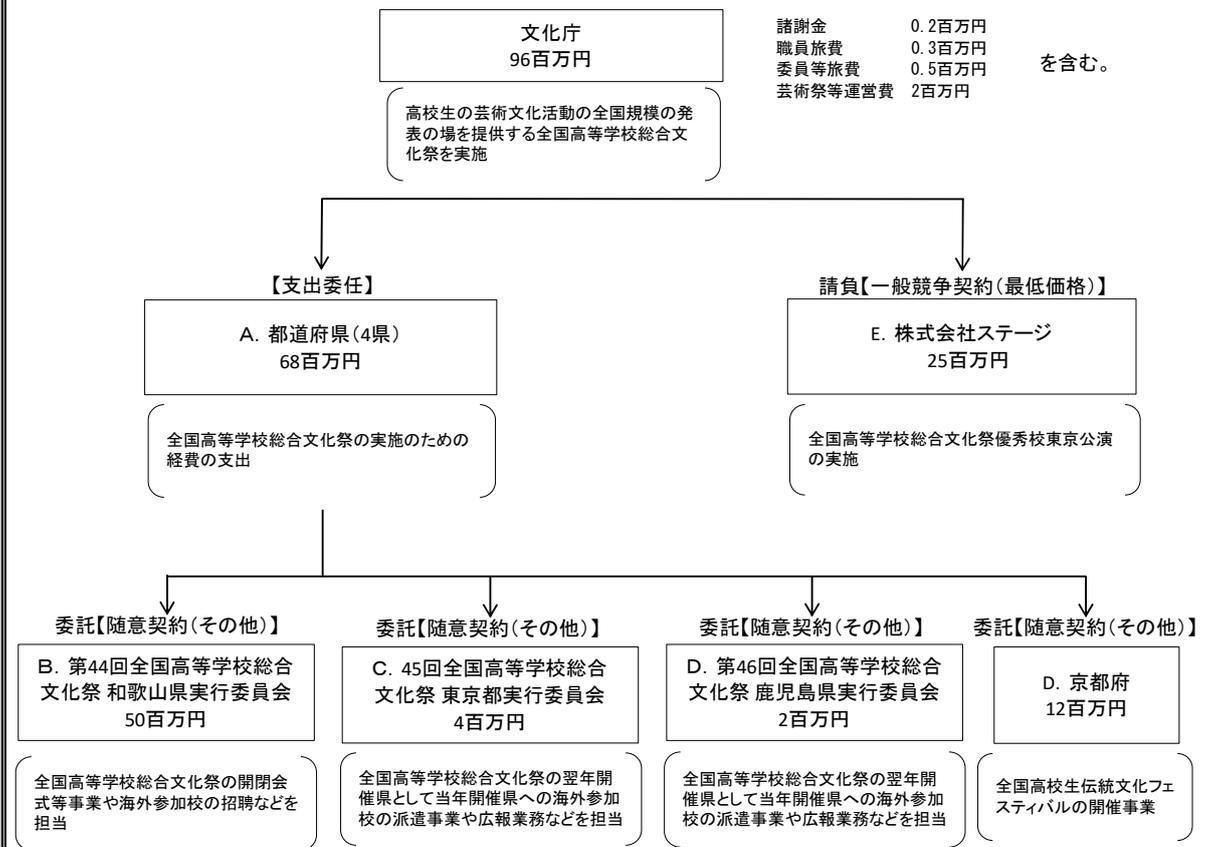
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	各都道府県の特徴を生かしながら、毎年新たな都道府県で実施している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	高校生の文化部活動を支援し、これを活性化することにより、将来の日本文化の発展に寄与するため、開催県との共催で行う事業であり、十分な実効性を持つ手段である。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	着実に開催県を内定、決定し、達成度は向上している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	1. 事業評価の観点:この事業は、高校生の芸術文化活動の全国規模の発表の場を提供する全国高等学校総合文化祭を実施するものであり、契約の競争性・公平性・透明性の確保の観点から検証を行った。 2. 所見:直接、業者委託している事業については、引き続き企画競争から一般競争入札による契約を実施している。	
	改善の方向性	事業費の執行に当たっては、開催県実行委員会の契約方法について事前に確認を行っているところであり、引き続き競争性を確保した委託先の選定に努める。	
外部有識者の所見			
各実行委員会に予算が渡った後、適正な契約・支出がなされているか検証する必要がある。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
事業改善部内改善	この事業は、外部有識者の指摘を踏まえ、支出先における契約・支出を把握し、より一層の契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行等改善	所見を踏まえ、支出先における調達方法も確認した上で支出委任を行うほか、実績報告書等において、支出委任ごとに支出先・使途の把握、経費の使用状況等の確認を引き続き行うことにより、適正な執行に努める。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	370			
平成24年度	5298			
平成25年度	364			
平成26年度	359			
平成27年度	355			
平成28年度	335			
平成29年度	344			
平成30年度	345			
令和元年度	文部科学省 -	0338		
令和2年度	文部科学省	0341		
令和3年度	2021 文科 20	0362		

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.和歌山県他3県			B.第44回全国高等学校総合文化祭和歌山県実行委員会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	全国高等学校総合文化祭実施のための経費	68	役務	開閉会式、開会式後に行うパレード会場設 置等に係る経費	50
計		68	計		50
C.第45回全国高等学校総合文化祭東京都実行委員会			D.第46回全国高等学校総合文化祭鹿児島県実行委員会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
広報経費	広報活動にかかる経費	4	広報経費	広報活動にかかる経費	2
計		4	計		2
E.京都府			F.株式会社ステージ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	全国高校生伝統文化フェスティバル実施の ための経費	12	事業費	全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演 に係る経費	25
計		12	計		25

